

11月30日(土)

| | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 | 第4会場 | 第5会場 | 第6会場 | 第7会場 | 第8会場 | 第9会場 | |
|-------|---|--|--|---|---|---|---|---|--|--|
| | サンポートホール高松 | | | | | | | | | |
| | 3F | 4F | | 5F | | | 6F | | | |
| | 大ホール | 第1小ホール | 第2小ホール | 54会議室 | 51会議室 | かがや国際会議場 | 61会議室 | 62会議室 | 63会議室 | |
| 9:30 | 9:30~10:00 オープニングセレモニーOD | 開会式サテライト会場(中継会場) | | | | | | | | |
| 10:00 | 10:00~10:45 行政説明OD | | | | | | | | | |
| 11:00 | 10:45~11:30日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN)30周年記念対談OD JaSPCANのあゆみと、いま、虐待対応にとら われているもの | | | | | | | | | |
| 12:00 | | | | | 昼食会場 | | 昼食会場 | | | |
| 12:30 | 12:30~14:30 | 12:30~14:30 | | | | 12:30~15:00 | | | | |
| 13:00 | 大会長企画シンポジウム1OD あゆもうともに ~こどもたちとつながりつづ けるために~ 座長:木下あゆみ、福田育美 | 委員会・WG企画シンポジウム1OD 虐待予防WG こども家庭センターの未来—保健と福祉の パラダイムシフト— 企画者:渡辺好恵、中坂育美、上野昌江 | 13:00~15:00 委員会・WG企画シンポジウム2OD 国際活動委員会1 国際的子ども虐待研究の意義~日本の 脱ガラパゴス化を目指して~ 座長:石倉亜矢子、山田不二子 | 14:05~15:25 S1-01 ハイリスク家庭のなかで医療の必要な子ども が生活していくための支援と連携 川口めぐみ | 14:00~14:50 一般演題1医療1 O-01~05 座長:安炳文 | 大会共同国際企画特別講演OD David Mandel DVから子どもの安全を守る方法をどう変 革するか-私たちが今日からできること- How to Transform the Way We Keep Children Safe from Domestic Violence:What We Can Do Today 座長:増井香名子、薬師寺順子 コメンテーター:薬師寺真 (逐次通訳) | 13:00~15:00 委員会・WG企画シンポジウム3OD 障害児虐待防止と予防に向けた、トラウマ インフォームドケア(TIC)・保護的・補償的 体験(PACEs)ベースとなる、保護者(虐待 当事者)・支援者へのペアレント・トレーニ ング(PT)の応用 座長:北川聡子、米山明 | 12:30-13:50 S1-05施設職員による利用者に対する「性 的問題」の重大性について-被措置児童 虐待「重大事案」明確化の中で- 小木曾宏 | 13:00~13:50 一般演題5児童福祉施設1 O-22~26 座長:小河泰宏 | |
| 14:00 | | | | | | | | 14:05~15:25 S1-06一時保護時の司法審査への対応 ~一時保護許可状を取得するまでの流れ と課題~ 浦弘文 | 14:00~14:50 一般演題6児童福祉施設2、児童相談所1 O-27~31 座長:吉澤賢治 | |
| 15:00 | 15:00~16:00 大会企画教育講演2 新生児殺、赤ちゃんポスト、内密出産から見 てきた実母像 座長:前田和寿 | 14:50~15:50 大会企画教育講演1OD 予防を中心に据えたフランスの児童保護改 革と現在取り組まれている挑戦と課題 座長:日下隆 | 15:30~17:30 大会企画シンポジウム1OD 地域子育て支援NPOと母子保健・医療と の連携・協働による予防型支援 座長:渡辺顕一郎 | 15:40~17:00 S1-02 子どもの性被害への対応に関する実態調査 についての報告 飛田桂 | 15:10~16:00 一般演題2医療2 O-06~10 座長:毎原敏郎 | | | 15:40~17:00 S1-07子ども一人ひとりに適した施設環境 について考えるIII:HOME 評価実践を通 じた理論と実践の融合 西森啓祐 | 15:00~16:00 一般演題7児童相談所2 O-32~36 座長:渡邊直 | |
| 16:00 | | 16:10~18:10 委員会・WG企画シンポジウム5OD CDR WG チャイルドドレジャー実現まであと少し! 我々がすべきことは? ~あのCDR劇場ふたたび!今回は概観検 証やります!~ 座長:仙田昌義 | | 17:15~18:35 S1-03 児童養護施設経験者の大学等高等教育機関 からの中退のリアル施設職員の役割と高等 教育機関との連携の可能性 谷向みつえ | 16:10~17:00 一般演題3里親・養子縁組・医療3 O-11~15 座長:米山法子 | 16:00~18:00 スポンサード国際企画OD 特別講演 スポンサー 日本財団 キャロル・シャウファ Carole Shauffer アメリカにおける乳幼児の家庭養育の推進 とクオリティ・ベアレンディング・イニシアティ ブ(QPI) 座長:高橋恵里子、副座長:北川聡子 (同時通訳) | 16:30~17:50 S1-04 子どもの出自を知る権利の保障について- 「内密出産」「こうのとりのゆりかご」に関連 して- 藤林武史 | 16:10~17:00 一般演題8児童相談所3 O-37~41 座長:中垣真通 | | |
| 17:00 | 17:00~18:00 大会企画教育講演3 「世代間連鎖」への心理療法の挑戦:子どもの 心理療法と虐待事件加害者の心理鑑定の交 点から 座長:中土井芳弘 | | | | 17:20~18:20 一般演題4子育て支援 O-16~21 座長:山岡祐衣、加藤雅江 | | | 17:15~18:35 S1-08自治体の「プッシュ型情報発信」に よる予防のセーフティネット「きずなメール」 から考える虐待予防の未来像 大島由紀雄 | 17:10~18:00 一般演題9児童相談所4 O-42~46 座長:鶴岡裕晃 | |
| 18:00 | | | | | | | | | | |
| 19:00 | 19:00~ | | | | | | | | | |
| 21:00 | 懇親会 JRクレメントホテル高松3F飛天の間 | | | | | | | | | |

12月1日(日)

| | | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 | 第4会場 | 第5会場 | 第6会場 | 第7会場 | 第8会場 | 第9会場 | |
|-------|---|--|--|---|--|--------------------------------------|--|--|---|---|---|
| | | サンポートホール高松 | | | | | | | | | |
| | | 3F | 4F | | 5F | | 6F | | | | |
| | | 大ホール | 第1小ホール | 第2小ホール | 54会議室 | 51会議室 | かがや国際会議場 | 61会議室 | 62会議室 | 63会議室 | |
| 08:30 | | | | 08:30~09:00 モーニングレクチャー1OD 虐待における証拠保全～子どもの安全確保と虐待の防止に向けて～ | | | 08:30~09:00 モーニングレクチャー2OD こどもの成長をサポートするオーダーメイドの栄養相談～チャイルドファーストの食事をめざして～ | | | | |
| 09:00 | 09:00~11:00 | | 09:00~11:00 | | 09:00~10:20 | 09:00~09:50 | | 09:00~11:00 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | |
| 10:00 | | 大会国際企画特別講演 Esther Deblinger 青少年とその養育者に対するトラウマフォーカスト認知行動療法(TF-CBT): 開発、概要、研究の成果Trauma-focused Cognitive Behavioral Therapy for Youth and Their Caregivers: Development, Overview and Research Advances 座長: 亀岡智美、森香保里(逐次通訳) | 大会企画シンポジウム2OD "生き抜く力"を育む～すべてのこどもに包括的性教育を～ 座長: 塩田敦子、鈴木佳奈子 | 09:00~11:00 大会企画シンポジウム2OD こどもの小さなこえをきく～医療との連携でできること～ 座長: 淀谷圭三郎、岡岡光子 | S2-01関係性支援プログラムのファシリテーションで求められる～ 酒井佐枝子 | 一般演題10市町村 O-47~51 座長: 芦田拓司、藤原誠 | 09:00~11:00 大会企画シンポジウム3OD こどもに携わる専門職者等の関わりがもたらす問題と改善に向けた課題～こどもとともにあゆむ おとなの関わりを再考する～ 座長: 野崎晃広、平野美紀 | 委員会・WG企画ワークショップ 性虐待WG 虐待の第一発見者聞き取りを練習しましょう!～司法面接前の初期聴取はどうあるべきか?～ 座長: 増井敦 | S2-06子どもとの協働を目指す 薬師寺真 | S2-09こどもと共に考える援助方針会議 ～「こどもの人生を大人だけで決めない!」 広島県東部と名古屋市の挑戦 栄留里美 | |
| 11:00 | | | | | 10:30~11:50 | | 10:00~10:50 一般演題11教育・ICT, AI O-52~56 座長: 井上景、岸本智成 | | | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 |
| 11:00 | | | | | S2-02妊産期からの虐待防止 服部律子 | | | | 11:20~12:20 委員会・WG企画教育講演OD 倫理・COI委員会 初めての研究倫理 ～発表しようと思うが、何をしたらいいか自信がない人への伴走 座長: 御牧信義、岩佐嘉彦 | S2-07子どもに対する暴力をなくし子どもの権利を保障する子どもの権利教育 森保道 | S2-10支援者はいかにして自分や組織の傷つきに気づけるのか?～やってみなはれ、知らんけど～ 辻野琢也 |
| 12:00 | | | 11:40~13:40 | 11:40~13:40 | | | 昼食会場 | | | | |
| 12:00 | | | 委員会・WG企画シンポジウム7OD 国際活動委員会企画シンポジウム2 海外で開発された治療法を日本で実践することの意義と実践～困難をどう乗り越えたか～ 座長: 石倉理矢子、山田不二子 | 委員会・WG企画シンポジウム8OD covid-19WG 急速に増えた「自分を傷つける子ども達」～コロナ禍があぶり出した子どもの心の居場所問題～ 座長: 奥山真紀子、西澤哲 | 12:30~13:50 | | | | | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 |
| 13:00 | 13:00~15:00 | | | | S2-03特定妊産期支援における連携協働に向けた取り組み 廣瀬みどり | 13:00~13:40 | 一般演題12地方公共団体・その他 O-57~60 座長: 仙田昌義 | 13:00~14:00 大会企画教育講演4 子どもの市販薬乱用問題 座長: 海野順 | 13:00~15:00 委員会・WG企画シンポジウム9 当事者ユースWG こども施策をこども・若者の意見を聴き、ともに進めていくためには 座長: 相澤仁、野口啓示 | S2-08自立支援担当職員同士のつながりから子どもの社会とのつながり形成へ～神戸市児童養護施設連盟の取り組み～ 馬場幸子 | S2-11福祉×国語×デザイン 「デザイン国語」による「助けて」のデザインとセルフアドボカシー支援 伊藤嘉余子 |
| 13:30 | 大会企画シンポジウム4 一時保護時の司法審査の導入に向けて～こどもを守るために～ 座長: 岩佐嘉彦、川松亮 | | | | | | | | | | |
| 14:00 | | 14:00~16:00 | 14:00~16:00 | 14:00~16:00 | 14:00~15:20 | 14:15~15:15 | 14:20~15:40 | S2-05虐待予防のための訪問型ペアレプログラム「セーフケア」 ～児童福祉・母子保健における導入～ 山岡祐衣 東京医科歯科大学 上原恵美、近藤強、井土優、木村一絵 | | | 14:05~15:25 |
| 15:00 | | 委員会・WG企画シンポジウム10OD 性虐待WG 私たちは、我が国の性虐待、性被害へどのように取り組んでいくのか? 座長: 田崎みどり、山田不二子 | 委員会・WG企画シンポジウム11 制度検討委員会 改正児童福祉法の論点(Ⅲ) 座長: 橋本和明 | | S2-04あなたのそばに助産師はいます～安心して妊娠・出産・産後・子育ての時期を過ごせる支援とは～ 竹内美由紀 | | | | | | S2-12こどもを主体としたライフストーリーワークを考える 才村真理 |
| 16:00 | | 閉会式 | | | 公募シンポジウム 80分 | | 一般演題口演10分(発表8分 討論2分) | | ポスター発表時間 11:20~12:00, 12:10~12:50 発表3分、討論2分 | | |

12月1日(日)

| | | | | | | | | | |
|------------|----------|----------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|
| 第10会場 | 第11会場 | 第12会場 | 第13会場 | 第14会場 | 第15会場 | 第16会場 | 第17会場 | 第18会場 | 第19会場 |
| サンポートホール高松 | | | | | JRホテルクレメント高松 | | | | |
| 7F | | | 1F | | 5F | | 2F | | |
| 第1リハーサル室 | 第2リハーサル室 | 第3リハーサル室 | 展示場A | 展示場B | BBスクエア | 雅 | 霞 | 暁 | 華 |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---|---|--|---|--|---|---|--|--|--|
| 08:30 | | | | | | | | | | |
| 09:00 | | | | | | | | | | |
| 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~11:00 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 | 09:00~10:20 |
| 10:00 | S2-13子ども期に逆境体験のある人が親になるということ～社会的養育の立場から～ 関根祥子 | S2-17気になる「気になるシート」～医療機関でのチェックシートの活用～ 毎原敏郎 | S2-21子ども若者シェルターの可能性について～子どもシェルターの経験から～ 高橋温 | S2-25一時保護時の司法審査に向けて～全国各地の試行運用からわかった！現場の実践と工夫～ 根ヶ山裕子 | S2-29諸外国における子ども家庭福祉分野のソーシャルワーカーの継続的な学び直しの在り方について 松山里紗 | 委員会・WG企画シンポジウム6 子どもの権利を守るWG2 子どもの権利を保障する児童相談所などのフォーマル(制度的)アドボカシーのあり方とは、子どもの声を尊重する関係機関のシステム構築や実践を展開するためには一 座長:安孫子健輔 | S2-35児童相談所一時保護所における研修の実行・評価に基づく人材育成の改善 太田研 | S2-39児童相談所におけるスーパーバイズの実践 -「学習する組織」の視点から- 北谷多樹子 | S2-43専門家里親から学ぶ里親里子クライシスからの転機 その3 西澤哲 | |
| 11:00 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 | 10:35~11:55 |
| | S2-14児童福祉司スーパービジョンの実践～バイザーとバイザーがともに育ち合うスーパービジョントレーニング～ 吉澤賢治、鶴岡裕晃 | S2-18保育領域における児童虐待を視野に入れた保育士の専門性について 増沢高 | S2-22児童虐待防止医療ネットワーク事業の現状とこれから 守谷充司 | S2-26子ども家庭センター制度の根本と要対協再構築の羅針盤～多角的自治体アセスメント(職員育成含む)の必要性 鈴木秀洋 | S2-30日本におけるケアラーバー調査の到達点と今後の課題 永野咲 | | S2-36「児童福祉法改正による年限弾力化を受けて、子どものはぐくみを考える」～制度の活用、その可能性と限界～ 福本啓介 | S2-40医療・司法・福祉の連携 ～頭部外傷事案の着手前カンファレンスの展望と課題～ 川本出 | S2-44アタッチメントの研修について考える～児童相談・施設里親一時保護所それぞれを対象とした研修～ 服部隆志 | |
| 12:00 | 昼食会場 | | | | | | | | | |
| | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 1230~1350 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 | 12:30~13:50 |
| 13:00 | S2-15協同面接における機関連携の間(はざま)におかれた子どもの声を聴く～子どもの声を聴くための児相の役割～ 鈴木浩之 | S2-19被措置児童虐待事案 曾我智史 | S2-23医療機関を主体とした多施設共同研究プラットフォーム:子ども虐待レジストリ(J-CARE)始動に向けて 安柄文 | S2-27ひとり親家庭のこどもの生活向上を目指して～こどもの貧困連鎖を断つため、施設だからこそできる家族支援～ 斎藤弘美 | S2-31児童虐待死亡事例について 裁判記録を用いた再検証報告～移管対応についての考察～ 斎藤知子 | | S2-33誰のためのアドボカシーか～ACEs(幼少期逆境体験)から見えてくるものからの検討～ 石田賢奈子 | S2-37逆境的体験の累積を予防するための早期関わりとは ～私たちの日常の取り組みと、その先～ 加賀谷悠 | S2-41千葉県における児童虐待防止医療ネットワーク事業の成果～各地区の特徴について～ 五十嵐真澄 | S2-45児童福祉施設職員自身のアタッチメントを保障する試み ～子どもをケアする人をケアする～ 益田啓裕 |
| 13:30 | | | | | | | | | | |
| 14:00 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 1405~1525 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 | 14:05~15:25 |
| 15:00 | S2-16「子どものためのワンストップセンター(日本版CAC)」のある社会システムの提言 田上 幸治 | S2-20児童相談所一時保護所の第三者評価義務化を有意義なものにするために 安部計彦 | S2-24「特別区の底力(そこから)～現場主導で変える児童福祉の人材育成～」 木野内由美子 | S2-28簡単に安全な「CCAP 版 親と子の関係を育てるペアレントングプログラム®」の効果を検証する 山川玲子 | S2-32これからの地域での子ども家庭支援のあり方を具体的に考える ～2022年改正児童福祉法を踏まえて 畠山由佳子 | | S2-34地方自治体における子どもの権利擁護機関で子どもの「声」を聴く意義と課題 谷口由紀子 | S2-38いまあらためて、養育規範を問う 子ども・若者支援と養育者支援との統合の方向性を探る 斎藤真緒 | S2-42ソーシャルワーカーのゆらぎを支援者としての成長につなげる～支援者への支援の視点から～ 橋本り子 | S2-46社会的養護を経て大学等へ進学した後の支援 ～奨学金給付と合わせた伴走型支援の課題と展望～ 浦田雅夫 |